

第2回まち・ひと・しごと創生推進会議 会議録

- 1 会議等の名称 第2回まち・ひと・しごと創生推進会議
- 2 開催日時 令和8年2月26日(木) 10:00～
- 3 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 本庁舎5階5A会議室
- 4 公開または非公開の別 公開
- 5 出席者

(1) 出席委員

嘉麻市誘致企業振興会	武田 政弘
学識経験者	井原 徹
自治労嘉麻市職員労働組合	後藤 雅子
J Aふくおか嘉穂	平畑 英幸
嘉麻市行政区長連合会	大屋 正義
嘉麻市PTA連合会	大里 健
一般公募	志水 真由美
一般公募	皆川 遼

(2) 欠席委員

嘉麻・桂川保育協会	溝口 恭子
株式会社福岡銀行	林田 史朗
嘉麻市観光まちづくり協会	中村 瑠梨
九州テレ・コミュニケーションズ (株式会社ケーブルステーション福岡)	中村 香織

※順不同、敬称略

(3) 執行機関

総合政策課	課長	小林 純一	課長補佐	伊藤 一洋
	係長	藤内 優	主任	香田 潤佑

- 6 傍聴人数 0人
- 7 議題及び審議の主な内容
 - (1) 嘉麻市人口ビジョン・第2期総合戦略の振り返りについて(報告)
 - (2) 地方版総合戦略に関する今後の動きについて(報告)
 - (3) その他
- 8 配布資料
 - (1) 第2回まち・ひと・しごと創生推進会議レジュメ
 - (2) 資料1 嘉麻市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略総括報告書
 - (3) 資料2 嘉麻市まち・ひと・しごと創生(地方創生)取組【事業一覧】デジタル田園都市構想総合戦略
 - (4) 資料3 地域未来戦略の推進について
 - (5) 資料4 総合計画、まち・ひと・しごと創生推進会議スケジュール

(6) 委員名簿

9 議事の内容

(1) 嘉麻市人口ビジョン・第2期総合戦略の振り返りについて（報告）

事務局より資料1、資料2を使って説明

- ・「第2期嘉麻市総合戦略」の成果について報告。嘉麻市人口ビジョンにおける目指すべき将来の方向を踏まえ、2065（令和47）年における本市の人口について、17,033人を維持・確保することを目指すこととし、それまでの課題認識を踏まえた令和2年度から令和6年度年度までの総合的な人口減少対策として、4つの基本目標を掲げ、それぞれの基本目標に対し、数値目標と具体的な施策及び施策ごとの重点業績評価指標を設定し、取り組みを進めてきた。目標人口及び一部の基本目標については、国勢調査や統計調査の結果後に記載し、改めて報告する。
- ・基本目標の評価結果について、全16項目のKPIのうち10項目で目標の80%~100%以上を達成（○評価）し、一定の成果を上げた。特に、創業支援や特産品開発事業等、産業や雇用に関連した施策については、いずれも目標値以上を達成し、事業の定着や利用拡大といった前向きな変化が見られた。一方で、人口減少や若年層の市外流出、出生数の減少など、全国的な社会動向の影響を強く受ける分野では課題が残った。
- ・第3期にあたるデジタル田園都市構想総合戦略の重点業績評価指標の1つである全国学力・学習状況調査の平均正答率の標準化得点については、当初は全国学力・学習状況調査の平均正答数を100とした標準化得点を100以上に到達することを目指す指標としていたが、国の学力・学習状況把握の数値化方法等の変更により、同種の効果測定比較は困難になっている状況のため、比較指標等について、担当課で検討している。
- ・デジタル田園都市構想総合戦略は令和7年度~令和11年度までの計画になっており、各年度が終了次第、進捗状況を把握し、当委員会で報告していく。

【主な質疑及び意見等】

〈質 疑〉

第2期嘉麻市総合戦略の目標人口は17,033人としているが、数字の根拠はなにか。

⇒人口維持のための各種の取り組みを行うことにより、社会増減の改善や合計特殊出生率を向上などの結果が得られれば、国立社会保障・人口問題研究所社準拠推計によると、総人口は17,033人が維持・確保することが出来る見込みとなっており、その数字を目標として定めた。

第2期嘉麻市総合戦略の重点業績評価指標で、例えば数字が特に良いもの（スマート農業導入件数、学習環境、通学費補助事業）や悪いもの（年間観光入込客数）の要因はなにか。

⇒スマート農業導入件数の増加については、第2期嘉麻市総合戦略を策定した時以降から、年々ITに関する取り組みが増え、タイミング的に補助金が出てきて利用する事業者が増えたと聞いている。

学習環境の増加については、義務教育等の学校を整備した際に併せて整備を行ったと

聞いている。

通学費補助事業の増加については対象を中学生・高校生から大学生・専門学生まで拡充し、補助割合をあげたことが要因だと考えられる。

年間観光入込客数の減少については、従来の入込客数の大半が道の駅うすいの利用者であり、現状道の駅については市内利用者が多いことが想定され、数値の取り方を変更したため減少している。

〈意見〉

スマート農業の機械が高額で導入してもかなり投資回収が困難であると考えている。

スマート農業振興については今の農地を現状維持していくためのですね、施策であると考えている。重要なところは、現状維持をするのに、例えば新規就農者をいかに呼び込んでいくところもあるが、10年、20年と継続的に農業を続けていくことができ初めて、取り組みが成功したといえる。

(2) 地方版総合戦略に関する今後の動きについて(報告)

事務局より資料3を使って説明

- ・2014年に「地方創生」を開始して以降、まち・ひと・しごと創生法の下で、日本の急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくための取組を進めてきた。2025年月には、「地方創生2.0基本構想」が閣議決定され、今後10年間を見据えた地方創生の方向性が定めら、「強い経済」、「豊かな生活環境」、「選ばれる地方」という3つの政策目標掲げられた。

【主な質疑及び意見等】

〈質疑〉

国が掲げている目標と市の目標とは関連しているのか。

⇒全体の方向性としては国と合っているが、国の政策自体があくまで国全体の方向性を示したものであるため、示されたものの中で市が取り組むべき事項等を併せて目標設定を行っている。また、本来であれば、達成すべき事業のKPIは進捗管理しているもの以上にあるが、その中からいくつか抽出して進捗管理している。

(3) その他

事務局より資料4を使って説明

- ・今年度、来年度のスケジュール等の確認（まち・ひと・しごと創生推進会議と総合計画審議会委員については同じ方に委員になってもらっているため、両会議体のスケジュール確認）
- ・嘉麻市まち・ひと・しごと創生推進会議については、9月以降に1回目の実施予定（正副委員長と調整予定）
- ・総合戦略策定審議会については

日程：令和8年4月8日（水） 10：00～

場所：嘉麻市役所本庁舎委員会室3

【主な質疑及び意見等】

〈意見〉

現在は現地に行かなくてもオンラインでできることが増えてきたが、環境等が整備されておらず、やりたいことがあってもできない人もいないのではないかと思う。そのため、Wi-Fi環境の充実や個人スペースの提供等の必要性が上がってきていると思う。